

ながまち荘

VOL 56

だより



※写真撮影時のみマスクを外しています。

編集発行

社会福祉法人 済生会支部山形県済生会 特別養護老人ホーム **ながまち荘**

〒990-0811 山形市長町751番地

- 指定介護老人福祉施設 TEL (023)684-2391 (代表) FAX (023)684-2394
- 指定短期入所生活介護事業所 TEL (023)681-5732
- 指定通所介護事業所 TEL (023)681-7589
- 済生会なでしこ地域包括支援センター TEL (023)681-7450 FAX (023)681-7603
- 指定居宅介護支援事業所 TEL (023)681-2865
- おれんじサポートチームえがお (認知症初期集中支援業務・認知症地域支援推進業務) TEL (023)687-0200 FAX (023)687-0211

発行責任者 施設長 岩崎勝也

発行日 令和6年9月吉日

印刷 コロニー印刷

E-mail nagamachiso@yamagata-saiseikai.org

「更なるサービスの質向上を」



特別養護老人ホームながまち荘施設長

岩崎 勝也

初秋の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、常日頃より当荘の運営にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

令和6年4月に介護保険制度の改正が行われておりますが、この度の制度改正では、昨今の少子高齢化に伴う介護需要の増大や介護人材不足の深刻化に対応するため「地域包括ケアシステムの深化・推進」をはじめ、「自立支援・重度化防止に向けた対応」「良質なサービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり」「制度の安定性・持続可能性の確保」の4つの視点が一層推進されることとなります。当施設としても質の高いケアマネジメントに基づくシームレスケアの実践、並びに自立支援や重症化防止を実現するための多職種間の連携やデータの活用を推進し、サービスの質や利便性の向上、個別の介護ニーズを捉えたサービスメニューの充実など、利用者の皆様が安心して、そしてより満足感の高い充実した生活をおくれるよう更に支援体制の強化を図っていきたくと考えております。また、当荘の特色でもあります社会的弱者への支援を核とする社会貢献に資する事業についても尚一層注力し、地域包括システムを包含した地域共生社会への展開を図ることで、地域の皆様方から信頼される施設運営に努めてまいりたいと考えております。地域福祉推進の一助となるべく、引き続き職員一同一丸となり努力を重ねてまいりますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

子ども食堂へ衣類等を寄贈させていただきました



ひがし食堂ふれあいにて 贈呈式



集まった衣類の選別

8月5日、山形市泉町の子ども食堂「ひがし食堂ふれあい」へ子ども用衣類等を寄贈しました。この日行われた贈呈式には、子ども食堂代表の鈴木和子様と福祉協力員の方、当荘からは施設長と当荘ソーシャルインクルージョン計画推進委員会の3名の職員が出席。今回は6月25日～7月26日の期間で職員から寄付を募集。子ども用衣類200点とハンカチや小物段ボール一箱分が寄せられました。

当委員会では年間を通して介護者教室や認知症サポーター養成講座等、地域貢献に軸をおいた活動を計画・実行しており、今回の活動もその一つです。

寄付を受け取られた鈴木代表からは「衣類を楽しみにしている子どもたちがいるのでとても嬉しく思います」とお話がありました。今後も地域の方々と連携し、みんなが支え合う住みよい街を作っていきたいと思っております。

ニュークックチルシステム導入から2年

「喜びと共に安心・安全な」

食事提供を目指して」



管理栄養士 佐藤 美幸

当荘の厨房でニュークックチルシステムを導入してから、2年ほどが経過しました。従前の提供方法と比較して、温かいものはより温かく、冷たいものはより冷たい状態で提供が可能となっています。介護食は安定した形態で栄養価は以前より良くなり、導入前より食べられるものが増えた入居者様も多く喫食率も上がりました。ホーム、シヨート、デイのご利用者を対象に嗜好調査を実施し、温度については約9割、「満足度」については約8割のご利用者が「満足」と回答されました。また、厨房内の作業の平準化により、衛生的且つ計画的な作業工程も実現できていますし、コストの削減にも繋がっています。



5月29、30日の2日間山形美容専門学校の外務講師でもあり、認知症キヤラバンメントの松田治美氏（美容室Ear With Water代表取締役）からお声がけいただき、山形美容専門学校一年生76名に対して、認知症サポートー養成講座を共同で開催しました。

授業の一環での開催となりましたが、学生さんの中には『将来のため』と積極的に受講された学生もおりました。講義後のグループワークでは、認知症の疑いがある方への対応方法として、『困った時は地域包括支援センターや市役所、場合によっては警察へ相談する』等、活発に意見を出し合っていました。

終了後のアンケートには『認知症に対して偏見を持たず、自分のこととして考えていきたい』などの感想や決意の言葉がありました。

美容のお仕事に就いた際には、認知症の方と接する事もあるかもしれません。その時にはぜひ講座で得た知識を活かして頂ければ嬉しく思います。



山形美容専門学校で

認知症サポーター養成講座



おれんじサポートチームえがお

『ながいき元気づらぶ』で
めざせ元気な体づくり！

済生会なでしこ地域包括支援センター



4月23日～5月21日の期間で全4回、地域のコミュニティセンターを会場に、『ながいき元気づらぶ』を開催しました。毎年、地域の方々を対象に当センターと山形済生病院が協同で開催しており、今年度は計74名の方々に参加をいただきました。

内容は、健康に役立つミニ講座と体操教室、健康相談コーナーです。消費者トラブルに遭わないための講話や、※人生会議を身近に感じてもらえるよう普及啓発動画を活用した講話を行いました。また健康増進センターめぐみの健康運動指導士から、自宅でもできる元気な体づくりの体操を教えるという一緒に取り組みました。



※「人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)」とは、もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと。



ホーム（長期入所）



立派なきゅうり
採れたぞ〜♪



ながまち
菜園



ラーメンを出前しました



んま〜いっけな〜♡



7/31 夏パーティー!!



職員による花笠踊りやくじ引きを
実施!屋台も出ました!



ヤッショーマカショ♪シャンシャンシャン!

かんぱ〜〜い!



これからも皆さまに楽しんで
いただけるように、色々な行事を
企画していきたいと思ひます!

夏パーティーの看板作りも
頑張ってくれました



デイサービス (通所介護)

リハビリ運動



姿勢と目線を意識しながら♪1.2.3.4♪



今日も頑張るゾー!



呼吸体操で
肺炎予防!

これからも、
元気になるデイサービスを目指します!!

50年振りの再会



お互い「変わらない〜」と手を繋ぎ満面の笑顔で再会されました!
「一緒に工場で、一生懸命働いだったね〜」と昔の話に花が咲きました♪

将棋対決!!

果敢に挑むTさん!
これからも挑戦は続きます…!

王将



Kさん強いな〜!
なかなか勝てないよ〜

季節の装飾作り



ひまわり♪
ひまわり♪



上手く出来たべ?



夏らしい色だね!



かわいいべ!



ショートステイ (短期入所)



笑顔溢れる日々

1人ひとりの笑顔がまわりの皆さんを幸せな気分してくれます。そして私たち職員の原動力にもなっています。



ショートステイでは日常の維持・向上を目指して集団体操や口腔体操を実施しております。

うさかめ体操



あいうべ口腔体操



レクリエーション活動 スパッとボール



機能訓練

下肢三点セットの取り組み



ありがとうございます♡





「社会貢献活動の受け入れ」 「山形刑務所との社会貢献作業協定を締結」



車椅子清掃ボランティアの様子

※プライバシー保護のため写真の加工をしています。

また、7月1日には山形刑務所との「社会貢献作業協定」を締結しました。社会貢献作業とは刑務所での刑務作業の一環で実施されるもので、社会貢献を実感する事で受刑者が改善更生し、円滑な社会復帰に資すると認められた作業です。今回の活動では、当荘で使用している車椅子を定期的に刑務所へ持ち込み、受刑者の方から掃除をしてもらうという内容です。犯罪のない明るい社会を創り、地域貢献を果たしていく為に今後も刑余者の方々の支援に注力していきます。

6月20日、保護観察対象者の社会貢献活動の受入を行いました。当荘では平成24年度より毎年社会貢献活動の受入をしてきましたが、今回二年ぶりに、刑余者をはじめ保護観察所、保護司、更生保護女性会の更生保護関係者等計16名を受け入れ車いす清掃を行っていただきました。参加者からは「一人の役に立つと思うと嬉しい」「福祉の仕事に関心が生まれた」等の感想がありました。

令和5年度ながまち荘決算状況

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

事業活動収入	627,175,380
事業活動支出	621,734,691
事業活動資金収支差額	5,440,689
施設整備等収入	0
施設整備等支出	5,533,064
施設整備等資金収支差額	△ 5,533,064
その他の活動収入	305,682
その他の活動支出	6,330,000
その他の活動資金収支差額	△ 6,024,318
当期資金収支差額	△ 6,116,693
前期末支払資金残高	208,915,066
当期末支払資金残高	202,798,373

サービス活動収益	626,165,092
サービス活動費用	651,402,463
サービス活動増減差額	△ 25,237,371
サービス活動外収益	1,291,410
サービス活動外費用	765,261
サービス活動外増減差額	526,149
特別収益	24,560
特別費用	1
特別増減差額	24,559
当期活動増減差額	△ 24,686,663
前期繰越活動増減差額	228,755,967
次期繰越活動増減差額	204,069,304

資産の部	
流動資産	232,762,430
基本財産	307,896,504
その他の固定資産	176,307,823
資産の部合計	716,966,757
負債の部及び純資産の部	
流動負債	61,431,541
固定負債	165,228,684
負債の部合計	226,660,225
国庫補助金等特別積立金	286,237,228
次期繰越活動増減差額	204,069,304
純資産の部合計	490,306,532
負債の部及び純資産の部合計	716,966,757

※財務諸表の詳細については、ながまち荘事務室において閲覧できます。

お知らせ

皆様からお寄せいただいた寄付金で、デイサービスに椅子5脚とテーブル1つを購入させていただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

寄付につきましては随時受付を行っております。尚、税制上の優遇も受けられます。



職員募集

時間や仕事内容等は下記までご相談ください。介護の仕事が未経験の方も大歓迎です。

問合せ先

ながまち荘 023-684-2391 (代表)
業務主査 手塚 敬一郎

編集後記



7月31日、約5年ぶりに規模を拡大して夏パーティーを開催し、利用者様も職員も笑顔のひと時を過ごしたと同時に、コロナ禍の数年を思い返し胸にこみあげるものもあり、感慨深い1日となりました。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

夕暮れも早くなってまいりましたが、まだまだ暑い日が続いていますのでしっかりと水分を摂っていただき、元気にお過ごしいただきたいと思います。

広報委員/岩崎勝也、三浦真澄、結城美咲、高見友郁、村岡千成実、佐々木香織、鈴木郁苗、種本佳奈恵、岡崎倫子、武田はるか